

令和 6 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査 (令和 6 年度調査) の調べ方について

カルテコンピューターからデータを集計できる項目だけ抜粋して掲載しています。

同じ集計で記載できる項目

・[経営統計] の [外来訪問] 令和 6 年 9 月～11 月 2. ③ 3. ①

歯科医療機関調査票

2. 貴施設における歯科訪問診療の実施体制および診療患者等について

③ 令和 5 年 9 月～11 月、令和 6 年 9 月～11 月の各 3 か月間の歯科訪問診療を実施した患者の実人数（該当する月のレセプト件数）

	令和 5 年 9 月～11 月	令和 6 年 9 月～11 月
1) 歯科訪問診療を実施した患者数（実人数）		
<p>それぞれの期間で別々に集計します。</p> <p>①[経営統計] > [外来訪問] にチェックして集計します。</p> <p>②[訪問] の人数を記載します。 ※ 3. ①も同じ数字を記載しますので記載しておいてください。</p>		
2) うち、定期的に歯科訪問診療を実施した患者数（実人数）		
<p>定期的な訪問かどうかは PC では判断できないため、医療機関の判断でご回答ください。</p> <p>訪問診療を行った患者のリストを作成して確認する場合</p> <p>①[日計] でそれぞれの期間で集計します。</p> <p>②日数の「訪問」または「訪問カルテ保険点数」で点数が記載されている患者が訪問の患者です。見出し欄をクリックして並び替えすると確認しやすくなります。</p>		

④ 令和 6 年 11 月の 1 か月間に貴施設として歯科訪問診療等を行った日数をご記入ください。

※歯科医師もしくは歯科衛生士等が複数で実施している場合でも、貴施設として実施した日を 1 日としてカウントしてください。

	日数
1) 貴施設として歯科医師が歯科訪問診療を行った日数	
2) 貴施設として歯科医師の指示のもとに、歯科衛生士等が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した日数※歯科医師に同行した場合は含みません。	
<p>「訪問診療を行った日数」は数えることができますが「訪問診療」と「衛生士単独訪問」を分けて数えることができません。「衛生士単独訪問」の日数については、医療機関の判断でご記入ください。</p> <p>「歯科医師が訪問診療を行った日」は全体の数から「衛生士単独訪問」の日数を引いた数になります。</p> <p>【訪問診療を行った日の数え方】</p> <p>①令和 6 年 11 月 1 日～30 日で日計を集計します。</p> <p>②「月別」の集計を表示させリスト内で右クリックし [表示項目の編集] で [在宅医療 点数] にチェックをつけて [OK] で閉じます。</p> <p>③「在宅医療 点数」欄が表示されるので、数字が入力されている日の数を数えます。</p> <p>「在宅医療」の文字をクリックすると並び替えされるので数えやすいです。</p>	

- ⑤ 令和 6 年 11 月の 1 か月間における、歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物の数についてご記入ください。

	建物の数	うち、特別の関係 にあたる建物の数
1) 歯科訪問診療を実施した患者数（実人数）		
①[訪問診療請求業務] > [請求書] で集計期間を令和 6 年 11 月 1 ヶ月間に設定して集計します。 ②施設の名称の数を数えます。 ※施設名で集計されていない場合は [設定] ボタンをクリックし [請求] タブ > [集計] タブ で「訪問場所ごとに集計する」にチェックして [OK] で閉じ、もう一度集計をかけてください。		
2) 上記 1)のうち病院		
3) 上記 1)のうち介護保険施設		
4) 上記 1)のうち居住系高齢者施設		
5) 上記 1)のうちその他（ ）		
2) ～ 5) については医療機関で判断してご記入ください。		

3. 貴施設における、在宅歯科医療に関する診療料及び加算の算定状況等について

- ① 令和 6 年 9 月～11 月の 3 か月間に歯科訪問診療等を行った患者の実人数と、歯科訪問診療料等の算定回数をご記入ください。

1) 歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数（人）（レセプト件数） ※同じ患者に 2 回診療した場合も「1 人」 ①[経営統計] > [外来訪問] にチェックして集計します。 ②[訪問] の人数を記載します。	人
以下の 2) ～ 5) の設問については診療時間ごとの患者のリストの作成ができないため、リコールで歯科訪問診療を算定している患者リストを作成し医療機関で判断して記載していただくよう、お願い致します。	
【歯科訪問診療料 1～5 の算定人数だけを集計する場合】 ①[診療統計] > [処置別] にチェックして集計します。 ②表示されたリストの一番上の「歯科初診料」をクリックします。 ③[F4 検索] をクリックし [検索する文字列] に「訪問診療」と入力し「部分一致」にチェックされていることを確認し [次を検索] をクリックします。 ④「歯科訪問診療 1」にジャンプするので「人数」を確認します。 ⑤ [次を検索] ボタンをクリックすると「歯科訪問診療 2」にジャンプするので「人数」を確認します これを繰り返して「歯科訪問診療 5」まで人数を調べます。 ※うまくジャンプしない場合は、リスト内の「歯科訪問診療」など項目の文字をクリックしてから [次を検索] ボタンをクリックしてください。	
【訪問診療料を算定している患者リストを作成する場合】 各訪問診療料ごとに別々に集計を行って下さい ①[リコール] > [次へ] をクリックして[リコールの条件] へ進みます。 ②[処置] をクリックし期間を「令和 6 年 9 月～11 月」に設定して [次へ] をクリックします。 ③下部の [検索語] に「訪問診療 1」（“ 1 ”は半角数字で入力します）と入力し [次を検索] をクリックします。 ④「歯科訪問診療 1」にジャンプするので [指定] にチェックします。 ⑤「歯科訪問診療 1」の項目名をクリックしてから [次を検索] をクリックします。 ⑥「歯科訪問診療 1（未届出）」にジャンプしますので [指定] にチェックします。同じ要領で「歯科訪問診療 1」という名称の項目すべてを検索してチェックをつけます（算定していないことが判明	

<p>している場合チェックは不要です)</p> <p>[次へ] をクリックします。</p> <p>⑦訪問診療を行っているオペレータ（歯科医師名）すべてにチェックし [完了] をクリックします。</p> <p>⑧画面が「リコールの条件」に戻るので [次へ] をクリックします。</p> <p>⑨後で呼び出すときにわかるように、リコール名に「訪問診療 1」などの名前を付けます。</p> <p>⑩ [完了] をクリックします。</p> <p>「歯科訪問診療 1」を算定している患者のリストが作成されます。氏名をクリックすると下部に算定日が表示されます。リストを基に診療時間を確認して記載をしてください。</p> <p>「歯科訪問診療 2」を算定している患者のリストは「訪問診療 2」（“2”は半角数字で入力します）で検索を行って下さい。同様にして必要に応じて「歯科訪問診療 5」までリストを作成します。</p>		
2) 歯科訪問診療 1 の算定回数		
3) 歯科訪問診療 2 の算定回数	a) 患者 1 人につき診療に要した時間が 20 分以上	
	b) 患者 1 人につき診療に要した時間が 20 分未満	
	c) 上記 b) のうち患者の容体が急変し、 やむを得ず治療を中止した場合	
4) 歯科訪問診療 3 の算定回数	a) 患者 1 人につき診療に要した時間が 20 分以上	
	b) 患者 1 人につき診療に要した時間が 20 分未満	
	c) 上記 b) のうち患者の容体が急変し、 やむを得ず治療を中止した場合	
5) 歯科訪問診療 4 の算定回数	a) 患者 1 人につき診療に要した時間が 20 分以上	
	b) 患者 1 人につき診療に要した時間が 20 分未満	
6) 歯科訪問診療 5 の算定回数	a) 患者 1 人につき診療に要した時間が 20 分以上	
	b) 患者 1 人につき診療に要した時間が 20 分未満	

- ③ 令和 6 年 9 月～11 月の 3 か月間に訪問歯科衛生指導等（居宅療養管理指導を含む）を行った患者の実人数と算定回数をご記入ください。

<p>1) 歯科医師の指示のもと、歯科衛生士等のみで訪問し、訪問歯科衛生指導を行った患者の実人数（人）</p> <p>①[診療統計] > [処置別] にチェックして集計します。</p> <p>②表示されたリストの一番上の「歯科初診料」をクリックします。</p> <p>③[F4 検索] をクリックし [検索する文字列] に「在宅診療:衛生士のみ」（“:”は全角）と入力し「部分一致」にチェックされていることを確認し [次を検索] をクリックします。</p> <p>③「在宅診療：衛生士のみ」にジャンプするので「人数」を確認します。</p> <p>※うまくジャンプしない場合は、リスト内の「項目名」の文字をクリックして</p>	
---	--

から [次を検索] ボタンをクリックしてください。 ※次の設問の2) でも同じ集計結果を使用しますので閉じないでください。			
うち、緩和ケアを実施している患者の実人数（人） 衛生士単独訪問で緩和ケアをしている患者さんのリストは作れないため、医療機関でご判断ください。 緩和ケアを算定している患者リストを作成するには「訪問診療料を算定している患者リストを作成する場合（2 ページ）」と同じ方法で、検索する文字列を「緩和ケア」にして検索してください。			
2) 訪問歯科衛生指導料の算定回数	単一建物診療患者		
	1 人	2～9 人以下	10 人以上
訪問歯科衛生指導料の算定回数 1) の集計結果で [F4 検索] をクリックし [検索する文字列] にそれぞれ右表にある文字列で検索して人数を記載します。	[訪衛指 1（単一建物居住者以外）] の人数	[訪衛指 2（単一建物居住者 9 人以下）] の人数	[訪衛指 3（単一建物居住者 10 人以上）] の人数
うち、複数名訪問歯科衛生指導加算の算定回数 1) の集計結果で [F4 検索] をクリックし [検索する文字列] に [複数名訪問歯科衛生指導加算] を入力して検索し回数を記載します。			
3) 上記 2) の算定回数のうち、訪問歯科衛生指導料の時間別の状況 実施時間でリストが作成できませんので、訪衛指を算定している患者リストを基にご判断ください。 訪衛指を算定している患者リストを作成するには「訪問診療料を算定している患者リストを作成する場合（2 ページ）」と同じ方法で、検索する文字列を「訪衛指」にして検索してください。			
20 分以上 25 分未満			
25 分以上 30 分未満			
30 分以上			

- ④ 令和 6 年 11 月の 1 か月間に、訪問歯科衛生指導で歯科衛生士等が訪問した建物の数についてご記入ください。

医療機関でご判断の上ご記入ください。

	建物の数	うち、特別の関係にあたる建物の数
1) 訪問歯科衛生指導で歯科衛生士等が訪問した建物の数		
2) 上記 1) のうち病院		
3) 上記 1) のうち介護保険施設		
4) 上記 1) のうち居住系高齢者施設		
5) 上記 1) のうちその他（ ）		

- ⑤ 令和 6 年 11 月の 1 か月間における訪問歯科衛生指導料の算定について、患者への指導内容別の回数をお答えください。

指導内容についてのカテゴリ別のリストの作成はできないため、カルテの内容を確認してご回答ください。

「訪問診療料を算定している患者リストを作成する場合（2 ページ）」と同じ方法で、リコールで以下の文字列で検索すると算定している患者リストが作成できます。

【口腔内の清掃】

- ・ 機械的歯面清掃処置
- ・ 口腔バイオフィルム除去処置
- ・ 術口衛 1
- ・ 在宅等療養患者専門的口腔衛生処置
- ・ 非経口摂取患者口腔粘膜処置

【義歯の清掃指導】

- ・ 歯科口腔リハビリテーション料 1/歯科口腔リハビリテーション料 1（困難な場合）
- ・ 新製有床義歯管理料/新製有床義歯管理料（困難な場合）

【口腔機能低下症】

- ・ 在宅患者訪問口腔リハビリ指導管理料
- ・ 歯科口腔リハビリテーション料 3（口腔機能の低下）

	単一建物診療患者		
	1 人	2～9 人以下	10 人以上
1) 口腔内の清掃（機械的歯面清掃を含む）			
2) 有床義歯の清掃指導			
3) 口腔機能の回復もしくは維持に関する実地指導			

患者票

令和 6 年 9 月 1 日～11 月 30 日の間に貴施設が歯科訪問診療を実施した患者のうち、最初に訪問した患者（患者 A）と、最後に訪問した患者（患者 B）の計 2 名についてお書きください。

施設等で何人も診療している場合、最初の時間に訪問診療をした患者を特定することができないため、以下の方法で確認してください。

（1）9 月の訪問診療を行った最初の日の日計を取り、訪問診療を行った患者を調べます。

日数の「訪問」または「訪問カルテ保険点数」で点数が記載されている患者が訪問の患者です。見出し欄をクリックして並び替えすると確認しやすくなります。

（2）訪問診療を行った患者のカルテを開き、該当の日の訪問診療料をダブルクリックし、編集画面を表示させます。

（3）訪問時間を入力する画面の左下の「訪問患者をすべて表示させる」にチェックし、訪問時間で「一番最初に訪問した患者」を確認します。

⑤の設問については、2. ⑤（1 ページ）と同様に [訪問診療請求業務] > [請求書] で集計すると同じ建物の患者リストが作成できます。

① 患者の性別	1. 男性 2. 女性
② 患者の年齢	() 歳
③ 訪問先の建物種別	1. 自宅 2. 病院 3. 介護保険施設 4. 居住系高齢者施設 5. その他 ()
④ 上記③の訪問先は貴施設と特別の関係にあるか否か	1. 特別の関係にある 2. 特別の関係にない
⑤ 上記③の訪問先建物（同一建物）の中に、調査日と同月に貴施設が歯科訪問診療を行った患者が他に何人いますか（この患者以外の実人数）。	() 人
⑥ 同居家族の有無	1. なし 2. あり⇒調査日の同居家族に対する歯科訪問診療の有無 (1. あり 2. なし)
⑦ 要介護度	
⑧ 認知症高齢者の日常生活自立度 (患者が 40 歳以上の場合)	1. 該当なし 2. I 3. II・IIa・IIb 4. III・IIIa・IIIb 5. IV 6. M 7. 自立度不明
⑩ 自院の最終の外来受診歴	1. 3 か月以内 2. 半年以内 3. 1 年以内 4. 3 年以内 5. それより以前 6. 外来受診歴なし
⑪ 歯科訪問診療の開始時期	1. 6 か月以内 2. 6 か月以上 1 年以内 3. 1 年以上前（西暦 年頃）
	【頻度】直近 1 か月あたりの 訪問回数
	【時間】訪問 1 回あたりの平均所要時間（滞在時間）
⑫ 歯科訪問診療の頻度・時間	月 () 回 平均 () 分/回
⑬ 訪問歯科衛生指導の頻度・時間	月 () 回 平均 () 分/回

⑮ 算定した歯科訪問診療料の種類	1. 歯科訪問診療料 1 2. 歯科訪問診療料 2 3. 歯科訪問診療料 3 4. 歯科訪問診療料 4 5. 歯科訪問診療料 5
⑯ 算定した歯科訪問衛生指導料の種類	1. 歯科訪問衛生指導料 1 2. 歯科訪問衛生指導料 2 3. 歯科訪問衛生指導料 3 4. 算定なし

後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査

3. 貴施設での長期収載品（後発医薬品のある先発医薬品）の状況についてお伺いします。

<p>②令和6年11月における処方箋発行枚数をご記入ください。</p> <p>(1) [診療統計] > [処置別] にチェックして集計します。</p> <p>(2) 表示されたリストの一番上の「歯科初診料」をクリックします。</p> <p>(3) [F4 検索] をクリックし [検索する文字列] に「処方箋」と入力し「部分一致」にチェックされていることを確認し [次を検索] をクリックします。</p> <p>(4) 「処方箋」にジャンプするので「回数」を記載します。</p>	
<p>②-1 上記②で回答した枚数のうち、選定療養の対象となりうる長期収載品の処方箋発行枚数をご記入ください。（令和6年11月1か月間）</p> <p>処方箋、院内処方の区別はできませんが、処方された薬剤のリストは作成できます。</p> <p>(1) [診療統計] > [薬剤別] にチェックして集計します。</p> <p>(2) 上部の薬剤名をクリックすると、下部に算定した患者名が表示されます。</p>	
<p>②-2 上記②-1 で1枚以上と回答した場合、その内訳をご記入ください。</p>	
<p>1. 医療上必要性があると歯科医師が判断したもの</p>	
<p>2. 後発医薬品の在庫がないため、長期収載品を処方したもの</p>	
<p>3. 患者が希望したもの</p>	